

加陽湿地でモニタリング調査を実施しました

～地域と連携した問診型モニタリング～

H29.9.22
H29.9.25
H29.9.26

～豊岡河川国道事務所～

豊岡河川国道事務所では、平成23年より、出石川加陽地区に整備した大規模湿地において、整備効果の把握を地域と連携して行う目的で、継続的にモニタリング調査を実施しています。この取り組みでは、地域と連携した調査の仕組み作り、小学校との連携調査の定着化、小学生への河川及び生物・環境等に対する関心の向上、定量調査により環境の変化を把握することを目指しています。

より効果的な現地調査となるように事前学習会を行い、円山川に関する知識や湿地に関する知識や関心を高め、定置網等を用いて2日間に渡る現地調査を実施しました。

概要

- 日 時：(事前学習)平成29年9月22日(金)13:40～15:15
(現地調査)平成29年9月25日(月)、26日(火)13:30～15:30
- 場 所：(事前学習)豊岡市立中筋小学校、(現地調査)出石川加陽湿地
- 主 催：豊岡河川国道事務所
- 参加者：豊岡市立中筋小学校5年生
NPO法人コウノトリ市民研究所、地域住民、豊岡市 計30名

【出石川加陽湿地整備概要】

- ・事業着手：平成19年度
- ・整備面積：15ha
(開放型・閉鎖型湿地の造成、三木川の改良等)

実施状況

■1日目(事前学習)

職員が中筋小学校で円山川や加陽湿地に関することを紹介しました。

また、ワークショップ形式で、どういったテーマで調査するのかをみんなで考えました。



円山川・加陽湿地の紹介



調査テーマの検討

■2日目(現地調査)

3班に分かれ開放型湿地閉鎖型湿地・出石川・三木川に定置網を仕掛けました。

定置網を設置後、出石川で川歩きを行い、自然を体感しました。



定置網の設置



出石川で川歩き

■3日目(現地調査)

前日に仕掛けた定置網を引き上げ、捕れた魚などを回収しました。

講師の先生に教えてもらいながら種の同定などを行い、最後に皆の前で発表しました。



定置網の回収



調査結果の発表

【参加した小学生の感想】

- ・出石川と繋がっている開放型湿地の方が魚が多く捕れると思ったけど、閉鎖型湿地の方が沢山捕れた。
- ・魚だけでなくカメやエビなども捕れてびっくりした。

THINK RIVER

【問い合わせ先】

国土交通省 近畿地方整備局 豊岡河川国道事務所 調査課
〒668-0025
兵庫県豊岡市幸町10-3 TEL 0796-22-3126(代表)

